発行番号：第０８Ａ１８１５号
発 行 日：平成２０年１１月１７日

品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを
証明する。

財 団 法 人 建 材 試 験 セ ン タ ー
中央試験所長 黒 [illegible]
埼玉県草加市稲荷５丁目[illegible]

試験名称	たて枠を介して木造建築用接合金物を使用した接合部の引張試験
依頼者	会 社 名：株式会社 栗山百造 所 在 地：新潟県三条市大字井戸場８４－９
試験体 (依頼者 提出資料)	１．接合金物 名 称：木造建築用柱脚仕口金物 商 品 名：枠材用クリホールダウンⅢ KHDⅢ－１５・２０・２５ 用 途：柱脚の仕口に使用する金物（アンカー型） 寸 法：幅40mm，長さ150mm，厚さ3.2mmの鋼板添え板にコの字形に折り曲げた厚さ4.5mmの鋼板を溶接接合したもの（図－２参照） 材 質：添え板部；図－２の化学成分及び機械的性質を満足するNFG 600F コの字部；SPHC（JIS G 3131） 表面処理：ダクロタイズド処理 ２．接 合 具 木ねじ：クリスパイラルビス 7×90，５本使用 アンカーボルト：六角ボルト M16×255 ３．使用軸組等 柱：樹種；すぎ，寸法；105×105mm たて枠：樹種；すぎ，寸法； 30×105mm （注）接合金物の設置位置におけるたて枠の留め付けは下記による。 N75くぎを150mm間隔（ちどり）で平打ち ４．試験体数 ７体（うち１体は予備試験体） 参 照：図－１及び図－２（試験体の形状・寸法）
試験方法	木造軸組工法住宅の許容応力度設計（監修：国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室，企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター）の２章「木造軸組工法住宅の各部要素の試験方法と評価方法」に従って行った。その詳細を表－１に示す。
試験結果	**短期基準引張耐力（Ｐｏｔ）：２５．２ｋＮ** 耐力算定基礎資料：表－２ 荷重－変位曲線：図－３及び図－４ 破 壊 状 況：写真－１～写真－６
試験期間	平成２０年１０月２８日
担当者	構造グループ 試験監督者 川 上 修 試験責任者 室 星 啓 和 試験実施者 渡 辺 一，若 林 和 義
試験場所	中 央 試 験 所